

東海道駿河以東：10旧街道資料館一畑一湯本一風祭



[弥次・喜多] 風祭辺りで
"人のあしふめどたたけど箱根山
本堅地なる石だかのみち"

国立箱根療養所



早雲寺



北条5代の墓



宗祇の墓

さうじ

鎖雲寺 (臨濟宗)

江戸初期早雲寺の山内にあった一庵を移築した禅寺。人形浄瑠璃「箱根霊験壁仇討」のモデルとされる「勝五郎と初花」の墓がある。一説によると、飯沼勝五郎は兄の仇敵(佐藤剛助のち滝口上野と改名)を追って来たが途中足が不自由となり箱車で箱根まで来る。女房の初花は毎夜向山の滝に来ては箱根権現に祈る。あるとき滝口と名前を変えた仇敵が箱根に、初花は勝負!と切りかかるが返り討ちに遭う。その時、箱根権現の霊験が現れ、勝五郎の足腰が立ち箱車から飛び出し、滝口を討ち取り念願を果たす。

接待茶屋跡

箱根権現の別当如実(あじま)は旅人や馬のため接待茶屋を営んでいたが資金が續かず中断、江戸呉服町の加勢屋与兵衛の協力を得て茶屋を開くべく幕府に申請。文政7年(1824)やっと許可が降りたが希望の畑宿、須雲川沿いでなくここ割石坂辺りであったという。



茶屋本陣茗荷屋跡
駒形神社

大沢坂
畑宿見付跡
奇木会館
一里塚跡

見晴茶屋

榎ノ木坂

猿滑坂

畑宿歩道橋

畑宿一里塚跡

大天狗神社

女ころがしの坂
この辺りから下った

接待茶屋跡

割石坂碑

須雲川橋

須雲川 IC

初花の滝の碑

鎖雲寺



鎖雲寺



勝五郎・初花の墓

大天狗神社

初花の滝の碑

鎖雲寺

須雲川橋

女ころがしの坂

この辺りから下った

接待茶屋跡

割石坂碑

須雲川 IC

初花の滝の碑

鎖雲寺

須雲川橋

女ころがしの坂

この辺りから下った

接待茶屋跡

割石坂碑

須雲川 IC

初花の滝の碑

鎖雲寺

須雲川橋

女ころがしの坂

この辺りから下った

接待茶屋跡

割石坂碑

須雲川 IC

初花の滝の碑

鎖雲寺

須雲川橋



畑宿一里塚跡

東海道駿河以東：静岡伝馬町・日本橋—⑩

早雲寺 (臨濟宗)

北条氏綱が伊勢新九郎長氏(法号早雲)の遺言で大永元年(1521)建立したとの伝え。京都大徳寺83世以天宗清が開山。関東における臨濟宗の中本山として、一時は鎌倉円覚寺、建長寺をしのぐ禅刹として発展。天文11年(1542)後奈良天皇の綸旨により勅願寺となる。後北条氏の滅亡と共に衰退する。北条氏5代の墓。近くに連歌師飯尾宗祇の墓と伝えられる宝塔がある。本堂前には戊辰戦争の遊撃隊士の墓がある。



鎖雲寺



勝五郎・初花の墓



小田原湯本ゴルフ場



正眼寺



曾我堂



三枚橋

道路より高台を歩く

箱根湯本

箱根町役場

湯場

早雲寺

神明町

三枚橋

湯本

湯本茶屋

湯場

早雲寺

神明町

三枚橋

湯本

湯本茶屋